よしかわ「自民・みらい」議員団報

第8号
平成26年1月10日

発行：自民・みらい　発行責任者：松﨑　誠
TEL.048-972-6035　FAX.048-972-6037
メール：jimin-mirai@hotmail.co.jp

自民・みらい行動理念

1　わたしたち「自民・みらい」は、吉川市はもとより、国・地域の未来を見据え、多様化する市民ニーズを的確に把握し、そして自らの考えを加味しながら、市政全般の課題に取り組んでまいります。

2　わたしたち「自民・みらい」は、議会が市民を代表し、意志決定する議決機関であることを常に自覚し、公平・公正に、そして透明性を確保しながら市民の皆様に信頼される活動をしてまいります。

3　わたしたち「自民・みらい」は、議会活動に必要な見識を深め、自己の資質を高めるため、絶え間なく研鑽に努め、市民の代表としてふさわしい活動をしてまいります。

新年あけまして おめでとうございます

吉川市議会　自民・みらい一同

皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。平素は議員団活動に対しましてご支援・ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。「自民・みらい」の会派を立ち上げてから2年が過ぎ、市民の皆様に信頼される事を常に心がけ活動してまいりました。

昨年の活動を振り返ってみますと、3月定例会において「自民・みらい」が呼びかけてスタートした「吉川市歯科口腔保健の推進に関する条例」を当市議会初、議員提案により制定しました。議員提案による条例制定は近隣自治体でも珍しく、会派を超え全会一致で制定することができました。また、4月には地域の活動拠点としても大きな役割を担う複合施設を併設した「美南小学校」が32年ぶり8校目の小学校として開校しました。そして、9月には吉川美南駅東口周辺開発説明会が実施されました。また、11月から吉川橋仮橋工事が当初の計画を変更して、車両通行可能な仮橋として工事が始まりました。この仮橋については、かつて「自民・みらい」の前身である自民党市議団が架け替え時の仮橋設置を県に要望し、現在と同様の車両が通行できる仮橋になったものです。今後も皆様からの意見を拝聴しながら市民の代表として活動してまいります。

本年、市の重点施策として大きく3つあります。一つは東日本大震災から3年が経過し、震災への備えから防災拠点としての機能を含む新庁舎建設基本設計業務で基本設計及び実施設計を決定します。二つ目は教育関係でPFI方式による学校給食センター整備事業、三つ目は吉川美南駅東口周辺開発等があります。私たち「自民・みらい」は、市の重点施策をはじめとする市政全般の様々な課題に取り組んでまいります。

皆様のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げますとともに皆様のご多幸ご繁栄をお祈りし、念頭の挨拶といたします。

12月定例会開催

15件を原案通り可決

12月定例会は12月2日から16日までの15日間で開催され、**市長提出の条例7件、市道認定及び廃止1件、人事案件1件、補正予算6件の計15件すべて原案通り可決されました。**

主な内容として▼平沼周辺地区は古くから市街地が形成されたため道路が狭く防火性の問題等があり、新たに平沼東部地区を6地区に分けて敷地面積の最低限度や壁面後退の位置、高さなど地区計画の内容について条例化する「吉川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」また、県の臨時雇用創出基金を活用して犬の飼い方マナーアップパトロール業務委託料として107万3千円を予算計上。▼人事案件では公平委員会委員の永瀬洋子氏の再任が同意されました。▼3日間にわたり行われた一般質問では会派から4人の議員が壇上に立ち、市の見解をただしました。▼政府に提出する意見書については、会派から提出した2件が採択されました。

意見書2件採択

自民・みらいの議員が提出者となり上程をした「新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書」が賛成多数で、「軽度外傷性脳損傷患者に係る労災認定基準等に関する意見書」が賛成全員でそれぞれ採択されました。

▼会派行政視察

竹原市・町並みの保存

耐震化された栄小学校

「文化財とまちづくり」

11月11日、耐震化された栄小学校体育館において、補強が施された部分を視察しました。

また、同月19日、20日は広島県尾道市、竹原市への視察を行いました。

19日は尾道市役所において文化財の保護とまちづくり「尾道市歴史文化基本構想」についてお話をお伺いし、現地への視察も行いました。**「歴史文化基本構想」**とは、地域の文化財をその周辺環境も含め総合的に保存・活用していくための構想で、地域のまちづくりと、文化財保護の取り組みを繋ぐことが期待されます。

20日は竹原市役所において「町並み保存地区整備」についての説明と現地視察を行いました。安芸の小京都と言われる**「たけはら町並み地区」**の表通りには、電柱が無く、郷愁感漂う格子と白壁の町並みが続いており「都市景観100選」に選ばれています。市内に無電柱化を求める声もあり、その手法も含め大変勉強になりました。

市内保育園と勉強会を開催

11月14日、会派主催により市内保育園の代表者との勉強会・意見交換会が開催されました。当日は、会派所属議員、市内民間保育園代表者、執行側から市長、健康福祉部長、子育て支援課長の参加により、厚生労働省の担当職員による「保育所を巡る諸問題」についてお話をお聞きしました。また、続く意見交換会では、「保育所運営費に係る地域区分見直しについての会派や議会での取り組みについて」の報告、各保育所のご苦労等たくさんの意見が出されました。

12月定例会における一般質問

総合治水対策について　加藤克明

問 台風26号による浸水・冠水の主な原因と対策は。

答 過去の台風と比較しても短時間で２００ミリを超える大雨となり、地盤の低い所では雨水が集中、排水が追いつかず発生した。

雨水を速やかに排出するには、排出先である河川整備が必要不可欠であり、早急な改修を国や県関連団体に要望していく。また、ゲリラ豪雨対策として県・市等により対策協議会の設置が計画されており、下水道や河川整備の連携強化を図るとともに、浸水被害を軽減するため、調整池整備が有効手段と考え、引き続き検討する。

問 総合治水計画の見直しは。

答 平成14年に作成され、11年が経過。その間、ゲリラ豪雨等気象状況が変化している事から、今後は総合治水計画の見直しを検討していく。

災害被害支援制度について　安田真也

問 被災者生活再建支援法の問題点に関する所見。

答 今回の竜巻被害において、全壊が11世帯であった越谷市は法適用があったのに対し、全壊が1世帯であった松伏町には法が適用されなかった。同じ災害で受けた被害に対し、支援を受けられる、受けられないという不均衡が生じていることから、支給要件等について議論が必要であると認識している。

問 1自治体による支援制度には限界があるため、広域的な助け合う仕組みを構築できないか。

答 国の制度が適用されない部分をカバーする独自の制度を都道府県が市町村と共に創設する動きがある。埼玉県でも、県及び市町村による独自の支援制度についての検討会が開催され、県及び越谷市、松伏町など10市町によるワーキンググループを設け、年度内に支援策についての方向性が取りまとめられる予定となっている。この議論をもとに、広域的な助け合う仕組みを構築していくことも必要であり、積極的にすすめていくべきであると考えている。

空き家対策について　中嶋通治

問 市内における空き家の把握と、倒壊寸前である空き家の所有者に対する措置は。

答 市内全域における空き家は把握していないが、適切に管理が行われていない空き家は4棟である。今後、自治会や消防本部等と連携して把握に努める。現在抱える事案については、強制力のある手段をとるための法令規定がないこと等から、現状を改善するために口頭・文書により繰り返し適切な管理を促している。

問 県では「空き家対策モデル条例」を作成し、各自治体に制定を促すとのことであり、当市も積極的に条例を策定すべきと考えるが、見解は。

答 まずは国における空き家等の対策に関する法制化の動向を注視していく。法制化の動きが進展しない場合には、適正に管理されていない空き家の状況等を踏まえ、条例制定について前向きに検討していく。

行政計画のローリングの考え方　中村喜一

問 農業政策における実施計画見直しの考え方は。

答 総合振興計画前期基本計画で施策の枠組みを示し、実施計画において具体的な事業計画に取り組んでいるが、国の農政改革の検討が進み、制度化があれば市の事務が新たに生じると想定される。適宜、実施計画の見直しをはかっていく。

問 生産基盤の整備事業について、その進捗状況は。

答 吉屋地区において、平成24年度から県施行による埼玉型圃場整備事業に取り組んでいる。早期の事業化に向け個別の説明を進めている。

問 中曽根跨線橋構造改良を周辺開発計画に盛り込むべきでは。

答 中曽根跨線橋は、武蔵野線の東西を行き来できる利便性の高い道路だが、一部に老朽化や構造上の課題があり改善するためには多額の費用がかかる。将来的な構造改良の際に延伸する可能性を考慮して土地利用計画案を検討したい。

問 美南駅周辺開発では中核となる企業等の誘致を念頭におき、地域デザインの考えで計画化すべきでは。

答 総合振興計画において複合新拠点の形成と位置づけ多機能型の新たな市街地整備を考えている。商業、業務、教育関係企業等から引き合いがあり、「夢・未来にはばたくまち」の実現にむけ誘致活動を進めていく。

総合防災訓練開催

東日本大震災を経験して以来、防災に対する意識は高まっています。10月20日、三輪野江小学校区の住民を対象に総合防災訓練が実施されました。

午前9時に大震災が発生したという想定で、防災行政無線放送が流れ、それを合図に訓練が開始されると、地域の方々が小学校に集合しました。

訓練は消防組合の指導のもと、応急手当法やＡＥＤを使用した心肺蘇生法等の体験をしました。

実際に体験する事で、防災意識の向上や日頃の心構えを学ぶことができ、防災体制の充実がはかられたと思います。

第８分団機械器具置き場引き渡し式

12月15日、吉川市消防団第８分団機械器具置き場が完成したのを受け、引き渡し式が挙行されました。会派からは松澤議長、安田議員が参加をいたしました。

第８分団の活動範囲は大字高久の一部、高久１・２丁目、大字中曽根の一部、中曽根１・２丁目、大字道庭の一部、道庭１・２丁目、美南１～５丁目であり建物数が急激に増えている地域でもあります。防災の拠点としての機能を十分に発揮していくことを期待しております。

分団機械器具置き場が完成した

自民・みらい議員団

松澤　正	加藤克明	中村喜一	安田真也	山﨑勝他	野口　博	中嶋通治	松﨑　誠
議　長	団広報 議会広報委員長	団広報 総務水道副委員長	団会計 文教福祉委員長	監査委員 建設生活委員	文教福祉委員 議会広報委員	副団長 議会運営委員長	団　長 総務水道委員
☎982-8172	☎983-5069	☎982-3777	☎954-5593	☎982-3307	☎982-8677	☎982-5770	☎991-0022